

# 藤田智直伝！ 家庭菜園 基本のホン！

そのナス



「家庭菜園基本のキホン！」第2回は、古くから日本人に親しまれているナスを取り上げます。焼きナスをはじめ、漬物、天ぷら、煮物など利用法はさまざま。ナスの基本を学習して、夏にぴったりの味を楽しんでください。

恵泉女学園大学 園芸文化研究所助教授  
藤田 智

## ナスの特徴

「秋ナスは嫁に食わずな」のこトワザで有名なナス（関西ではナスビ）は、栽培の歴史も古く、日本人にも親しまれている野菜の1つでしょう。揚げナスのみそ田楽、焼きナス、漬物など、日本の食文化が詰まっているような果菜です。

もとはインド原産の高温性作物で、生育適温は30前後と高く、また日当たりのよい場所を好むので、弱い日照下では生育が悪くなります。乾燥に弱いため、土壌水分が多く耕土の深い沖積土壌が適しています。収穫期間が6～10月上旬と長く、家庭菜園ではトマト、キュウリと並んで人気の高い野菜です。



ナスの花。濃い紫色の花が咲く。

日本人に古くより愛されてきたナスは、料理法も幅広く栄養価も高い。

## おすすめナスあれこれ

## 主な品種

品種数は多く、形や用途もさまざまです。地方品種も数多くあるので、子どものごろよく食べた懐かしい味を自分で復活させることもできます。

### 小ナス



「竜馬」など。

### 米ナス



「くろわし」など。

### 丸ナス



「紫水」。ほかには「早生大丸」など。

### 長ナス



「庄屋大長」。ほかには、「黒陽」「長岡長」「筑陽」などがおすすめ。

### 中長ナス



ナスの定番「千両二号」。ほかには、「小五郎」などがおすすめ。

## 観賞用ナス...シロナス、タマゴナスなど



観賞用ナス「甲子園」



観賞用ナス「センセーション」

## 地方品種



十全ナス(新潟、丸ナス)。



民田ナス(山形、小ナス)。



水ナス(大阪、中長ナス)。

## その他地方品種

加茂ナス(京都、丸ナス)  
仙台長ナス(宮城、長ナス)  
博多長ナス(福岡、長ナス)  
巾着ナス(新潟、丸ナス)

地方品種、観賞用ナスは取り扱いがないものがありますので、ご了承ください。

第1図 土づくり

元肥 1㎡当たり  
 堆肥 4kg  
 油かす 100g  
 熔リン 60g  
 化学肥料 150g

植え付け 2週間前  
石灰散布、耕起

植え付け 1週間前  
畝作りとマルチング

全面散布  
耕す

深め (30~40cm) に耕す!

1㎡当たり 150~200g 全面散布!

1 土づくり

ナスは6~10月まで長期間にわたって収穫できる野菜なので、堆肥などの有機物を多めに投入し、ふかふかの土をつくるようにしましょう。ただし、連作障害が現れやすいため、4~5年程度の間隔をあけて作付けするようにしてください(第1図)。

<1条植え>  
高さ20cm 幅60cmの畝を作る。

<2条植え>  
高さ20cm 幅120cmの畝を作る。

マルチをして地温を高める。

栽培方法

第2図 よい苗・悪い苗

接ぎ木苗  
・連作OK!  
・収量アップ!

接ぎ木部分

×悪い苗  
間伸び(徒長)している。

病害虫にやられている。  
葉の色が薄い。  
下葉が落ちている。

よい苗  
節間がつまってガッチリしている。

病害虫がない。  
葉の色が濃く、厚い。  
茎が太い。  
双葉がついている。

2 タネまきと植え付け

ナスの場合、タネまきから植え付け適期の苗に生長するまで75~80日間を必要とし、また発芽適温も28~30と高温のため、家庭菜園の場合は園芸店などで苗を購入するのが一般的です。遅霜の心配がなくなる5月の連休ごろに植え付けるよう、土づくりと苗の準備をします。

第3図 植え付け

<1条植え>  
植え穴掘り 株間60cmとし、移植ゴテで植え穴を掘る。

掘った土

水やり ジョウロで水を植え穴に注ぐ。

米ナスの場合は、株間90~100cmと広めにとる。

水がひいたら、苗を植え付ける。

その後の作業 1条植えと同じように行う。

<2条植え>  
千鳥植に 条間60cm、株間60cmとし、千鳥に植え付ける。

仮支柱立て 植え付け後、長さ60~70cmの仮支柱を立て、8の字に誘引する。

苗は、節間がつまっています、茎が太く、ガッチリしたものを選びます(第2図)。下葉が枯れて肥切れした老化苗は、活着が悪いので避けてください。また、やや高価になりますが、耐病性のある台木(「台太郎」「トナシム」など)に接ぎ木した苗は連作障害にも強く、生育も旺盛なのでおすすめです。植え付けについては、第3図を参照してください。

ナスの花形と株の栄養状態

ナスの生育状態のよし悪しは、花の形態でおおよそ判断することができます。すなわちナスの花は、雌しべと雄しべの相対的長さによって、長花柱花(雌しべ>雄しべ)、中花柱花(雌しべ=雄しべ)、短花柱花(雌しべ<雄しべ)に分けられます。株の状態は長花柱花が一番よく、ついで中花柱花となり、短花柱花が見られるようになると株の栄養状態が不良と判断されます。ナスの花形と株の栄養状態、栽培環境の関係を、表にまとめてみました。花を観察して栽培管理の参考にしてください。

表 ナスの花形で栄養診断

花形	環境条件など				
	花色	花の大きさ	株の栄養	土壌水分	結果率
雌しべ 長花柱花	濃紫色	大	良	多	高
中花柱花	紫色	中	中	中	中
短花柱花	淡紫色	小	悪	少	低

第4図 整枝法(仕立て方)



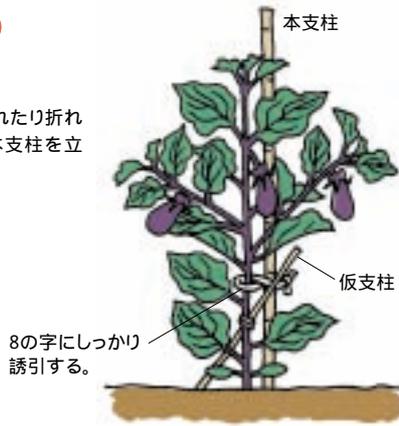
3本仕立て  
 一般に、主枝とその下の草勢の強い2本のわき芽(1番花直下とその下のわき芽)を利用する、3本仕立ての整枝法で仕立てる。

3 管理

植え付け後、ナスの生長とともに枝が込んできますので、わき芽を摘んで整枝します(第4図)。収穫が始まったら、2週間に1回追肥を行い、軽く土寄せをしておきます(第5図)。生育が進んで伸びた枝は、本支柱を立てて誘引してやりましょう(第6図)。

第6図 本支柱立て

枝が伸びると倒れたり折れたりするので、本支柱を立てて誘引する。



8の字にしっかり誘引する。

第5図 追肥

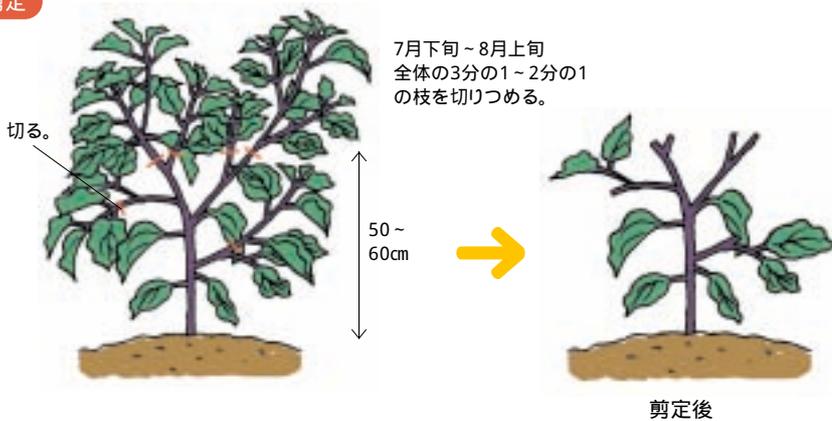


クワで土寄せする。

収穫開始後、2週間に1回、肥料を通路にまき、軽く土寄せする。

土寄せの際、マルチのすそをはがしておく。 1㎡当たり30g

第7図 更新剪定



7月下旬~8月上旬  
 全体の3分の1~2分の1の枝を切りつめる。

剪定後

4 更新剪定

7月下旬ごろになると収量は増えますが、同時に枝が込みあって日当たりが悪くなるため、果実の品質が落ちてきます。そこで、このころから8月上旬までに、枝を切りつめる更新剪定を行います(第7図)。これにより、新たに発生した枝から品質のよい果実が収穫できます。

5 病害虫

アブラムシ、ハダニ類にはマラソンやDDVP1500~2000倍液を、ヨトウムシにはDEP乳剤1000倍液を散布します。また、アブラムシには毎夕、葉水をたっぷりかけると密度が減少します。うどんこ病にはモレスタン水和剤2500倍液を、褐紋病には銅水和剤600倍液を散布します。

6 収穫

開花後20~25日の未熟果を収穫します。熟すとタネがたくなり肉質も低下する(ボケナス)ので、中長品種なら10cmくらいから収穫していくとよいでしょう。



収穫後は、果実の蒸散による萎れが早いので、新鮮なうちに食べる。



藤田 智 (ふじた さとし)

プロフィール  
 秋田県生まれ。恵泉女子大学園芸文化研究所助教授。専門は野菜園芸学、植物育種学、農業教育学。「NHK趣味の園芸」講師、雑誌「やさい畑」連載のほか、ラジオなどでも野菜作りの魅力を伝えている。主な著書に「別冊NHK趣味の園芸・わが家の片隅でおいしい野菜を作る」(NHK出版)など多数。

上記の農薬は、通販では取り扱いがありませんのでご了承ください。